

研究会「Post-Election Japan 国内政治、北東アジア情勢、そして日韓協力の展望」を開催

2026年3月13日（金）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、研究会「Post-Election Japan 国内政治、北東アジア情勢、そして日韓協力の展望」を開催いたしました。

本研究会では、2026年2月の衆議院選挙で大勝した高市政権が、国内政治および北東アジアや日韓協力などの地域戦略に与える影響について議論を行いました。登壇者には、政治学者としての研究活動に加え、YouTubeなどのニューメディアを通じて国際関係の諸問題を一般にわかりやすく解説するなど、多方面で活躍しているキム・ジユン博士をお招きしました。また、神戸大学の木村幹先生や阪南大学の千島智伸先生、毎日新聞社の澤田克己論説委員をはじめ、日本における日韓関係の専門家との間で活発な意見交換が行われました。

議論の中では、日韓の対立構造そのものよりも、まず両国の専門家間に存在する認識の差が依然として明確であることが指摘されました。そして、この認識の差を正確に理解し、埋めていくことこそが、今後の日韓協力を一歩前進させるために不可欠であるという重要な示唆が得られました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2026年3月13日（金）15:00-17:00

会場 立命館大学朱雀キャンパス 301教室

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

後援 韓国国際交流財団（KF）

●登壇者

キム・ジユン（政治アナリスト、MIT博士（政治学））

木村幹（神戸大学大学院国際協力研究科・教授）

千島智伸（阪南大学経営学部経営学科・准教授）

澤田克己（毎日新聞・論説委員、立命館大学東アジア平和協力研究センター・客員研究員）

渡辺宏彰（立命館大学国際関係学部・教授）

中戸祐夫（立命館大学国際関係学部・教授、立命館大学東アジア平和協力研究センター・センター長）

石一字（立命館大学東アジア平和協力研究センター・客員研究員）

フライヤー

Post- Election Japan

Friday, May 13
15:00-17:00

国内政治、北東アジア情勢、そして日韓協力の展望

会場：立命館大学 朱雀キャンパス 301教室

主催：東アジア平和協力研究センター

後援：韓国国際交流財団



Special Speaker: Dr. Jiyeon Kim

政治アナリスト。TBS FM「Jiyeon Kim's Evening Show」パーソナリティ。MIT政治学博士。

ROUNDTABLE DISCUSSION

本ラウンドテーブルでは、日本の最近の選挙が国内政治および地域戦略に与える影響について、北東アジアを中心とした視点から、今後の日韓協力のあり方に焦点を当てて検討します。

- I. 日本の選挙結果と国内政治の動向
- II. 北東アジアの地政学的展望 — 日本の視点から
- III. 日韓関係および協力の今後の方向性

お問合せ: 東アジア平和協力研究センター
E-Mail: ceapcs@st.ritsumei.ac.jp

KOREA **KF**
FOUNDATION
한국국제교류재단

R 東アジア平和協力研究センター
Center for East Asian Peace and Cooperation Studies, Ritsumeikan University

申し込みは
QRコードで



当日の写真

